

Eat Well, Live Well.



# 味の素株式会社（2802） 2023年3月期第1四半期実績

執行役常務  
中野 哲也

2022年7月29日

\*本資料における事業利益（連結ベース）：売上高－売上原価－販売費・研究開発費及び一般管理費＋持分法による損益

## 本日お伝えしたいこと

---

- 第1四半期は、増収増益を達成。  
売上高と事業利益はFY16のIFRS導入後、四半期ベースでは過去最高。
- 各地で実施した値上げをはじめとした取組みにより、着実な単価向上を実現。マーケティング費を効率的に使用したことも含め、昨年度より引き続きしている原材料費・物流費・人件費等コスト増を打ち返した。
- 第2四半期以降に適用される値上げも発表済み、もしくは計画中であり、消費者の反応を注視しつつ、収益力強化を図る。
- 足元の為替や原燃料価格の状況はFY22予想に対してややポジティブ傾向ではあるが、今後の市況動向は引き続き不透明なため、注視していく。
- 2022年度通期予想は、据え置き。（修正なし）

## 第1四半期累計(4-6月期)サマリー

売上高 : 3,216億円 (対前年実績 116.4%、除く為替影響 107.7%)

事業利益 : 405億円 (対前年実績 104.1%、除く為替影響 96.2%)

親会社の所有者に  
帰属する当期利益 : 277億円 (対前年実績 125.7%)

### 1. 売上高：増収

- ・主要セグメントで、いずれも増収となり、全体で大幅増収。

### 2. 事業利益：増益

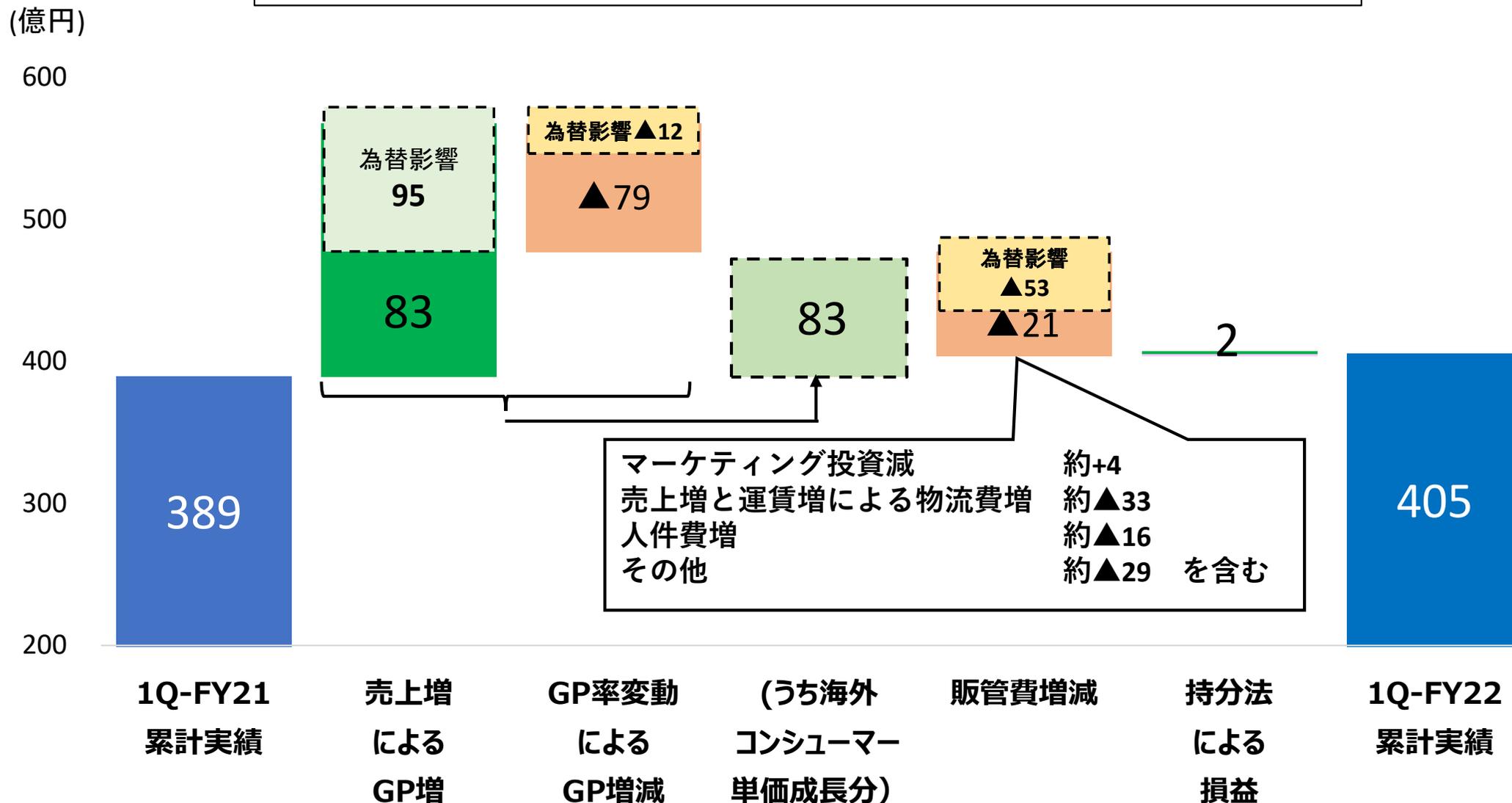
- ・調味料・食品や冷凍食品は増収も、原材料等のコスト増影響や物流費・人件費の高騰により、減益。ヘルスケア等は、ファンクショナルマテリアルズ事業やバイオファーマサービス&イングリディエンツ事業が好調で、増益。

(事業利益対前年増減内訳)

項目	増減 (億円)	1Qに影響した内容
	対1Q-FY21	
売上増減によるGP増減	178	海外の調味料・食品、海外の冷凍食品、ファンクショナルマテリアルズ、バイオファーマサービス等の増収効果。
GP率変動によるGP額変動	▲ 91	
販管費増減	▲ 74	マーケティング費を効率的に使用したが、物流費・人件費の高騰の影響で販管費増加。
持分法による損益	2	—

# 事業利益増減要因 (P&L要素別 第1四半期累計実績)

原燃料・食品原料コスト上昇 ▲約40億円 (ネット影響額)  
 為替影響 +約30億円  
 コストダウン +約10億円を含む

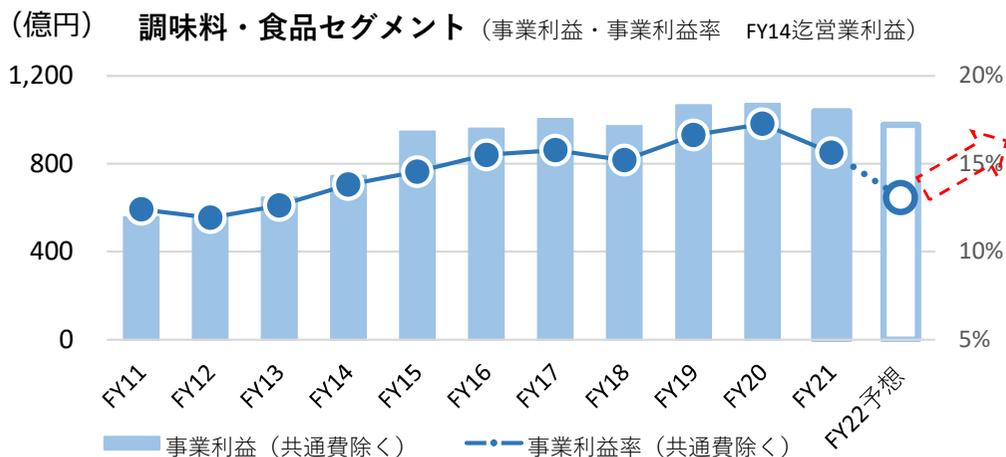
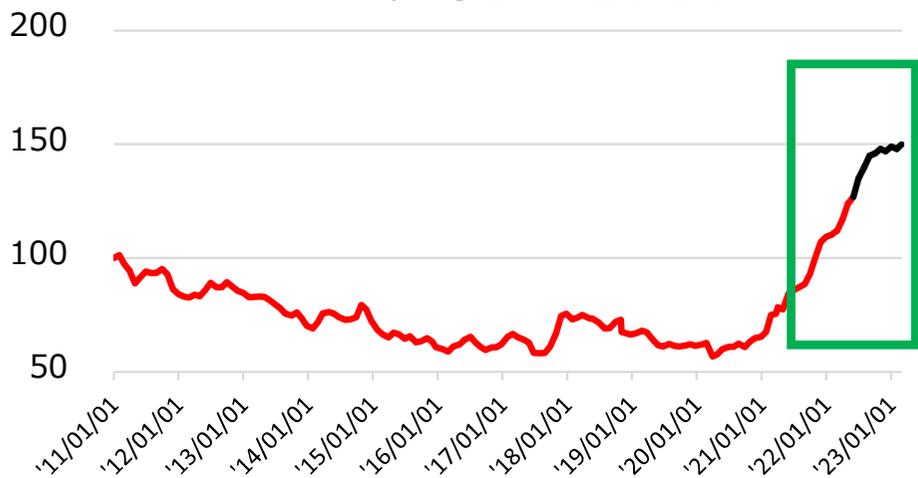




# 業績に影響を及ぼす項目（主要発酵原料・副原料価格推移）

- ・ **コモディティ価格は、調味料・食品事業に影響。機敏な値上げを実行するとともに、原料価格に左右されない事業構造実現へ向け、一段の構造改革を進める。**

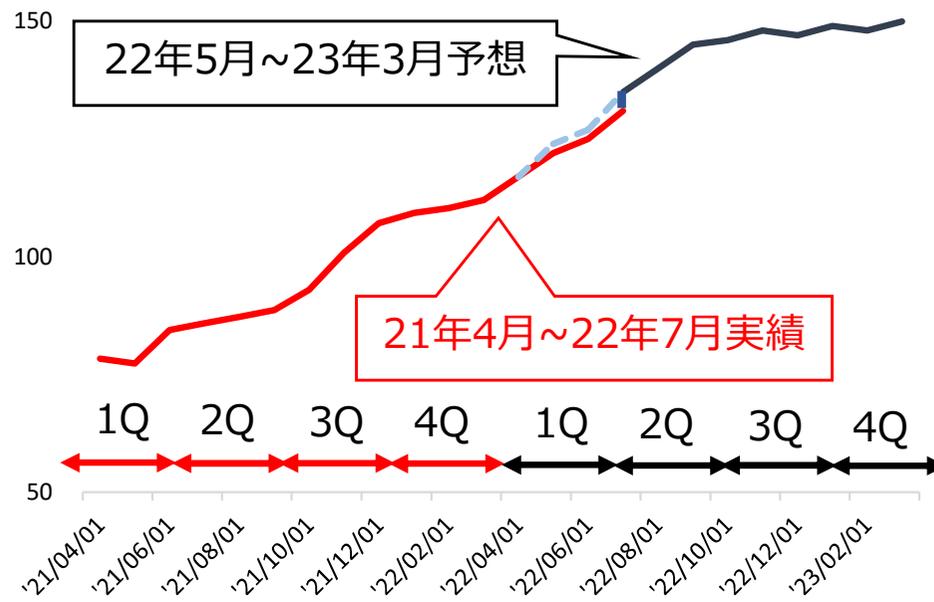
主要発酵原料と副原料の価格推移  
 (購入量加重平均、FY11実績~FY22予想)  
 ※2011年1月を100とした時



## 拡大 (FY21-22予想) FY22-1Q実績更新

(前提条件)

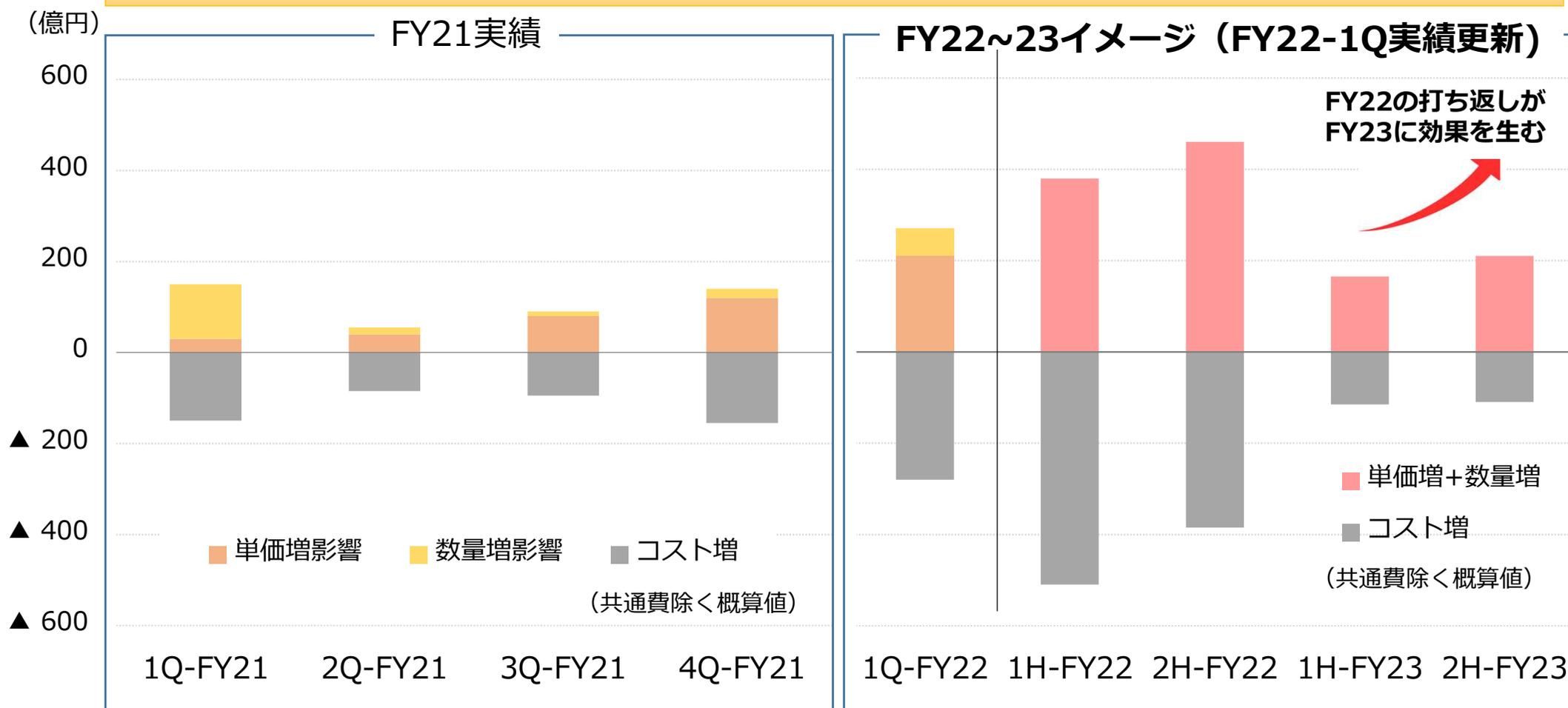
- ・ ロシアへの経済制裁影響が年度内継続し、主として副原料、燃料等で影響を受ける。
- ・ 年度内は上昇基調の継続を見込む。



## 業績に影響を及ぼす項目（コスト・費用影響額と打ち返し）

- FY21-22ともに、原料、燃料が高騰しGP下押し圧力がある中、価格改定で打ち返し、影響を最低限にとどめている。FY22も単価向上に加え、数量成長も合わせて、確実に打ち返していく。**

### 調味料・食品事業のBP額に与える対前年コスト・費用影響額と打ち返しイメージ



# 重点KPI (セグメント別予想)

## セグメント

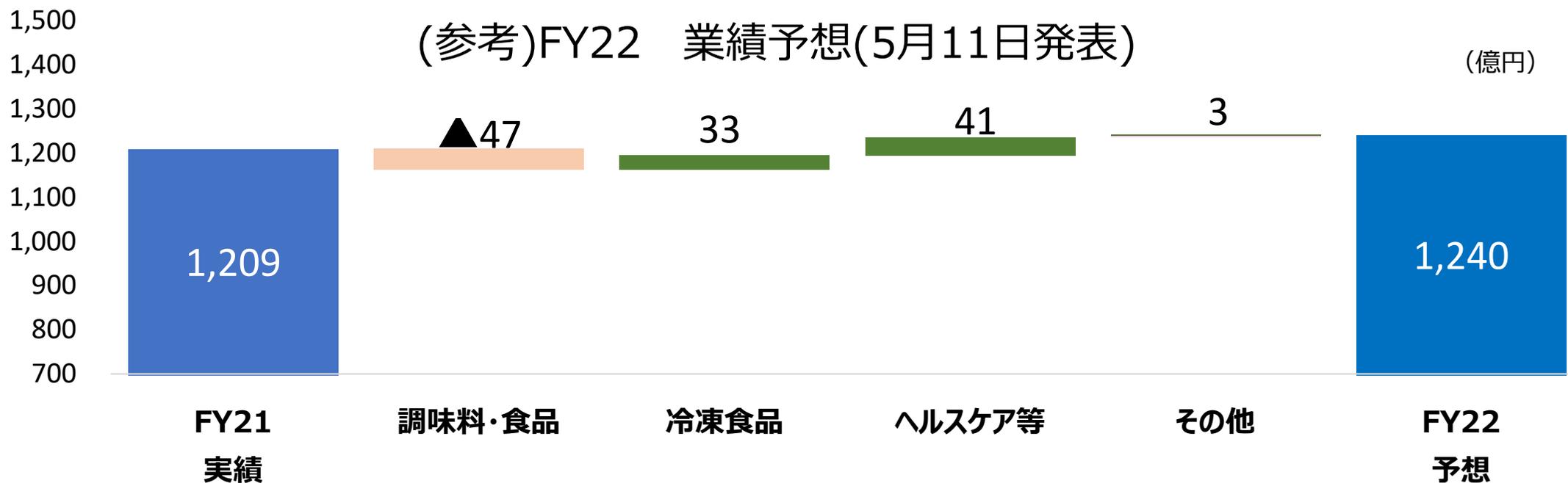
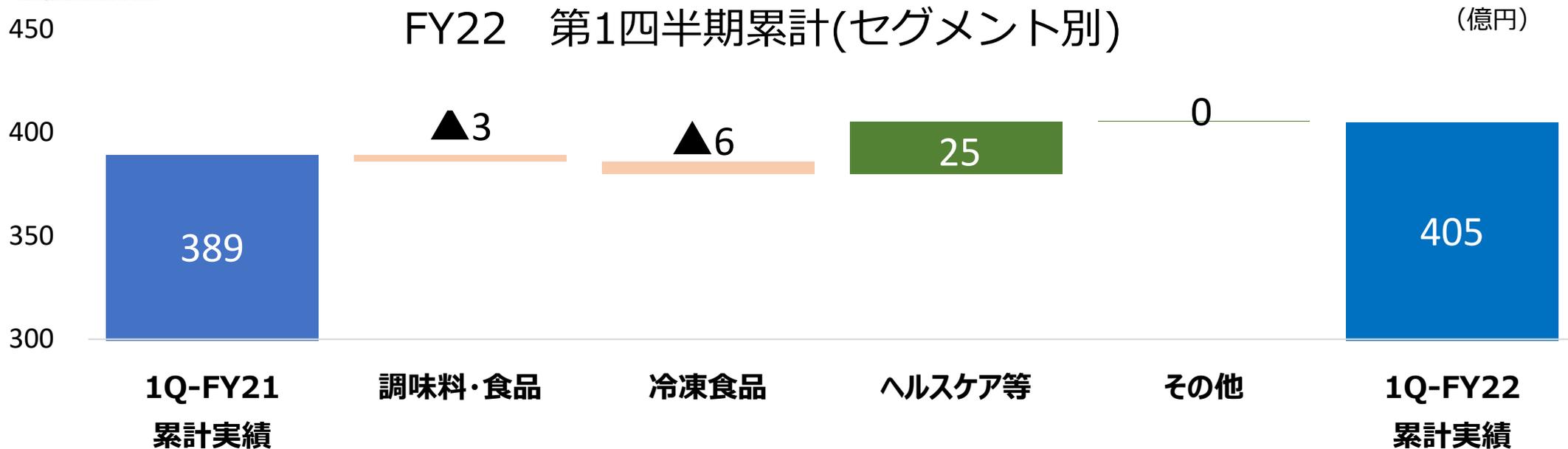
## FY21・FY22-1Q実績とFY22予想

セグメント		オーガニック 成長率				単価成長率 (海外コンシューマー製品)				ROIC	
		(%)				(%)				(%)	
調味料・ 食品	調味料	FY20 実績	FY21 実績	FY22 1Q実績	FY22 予想	FY20 実績	FY21 実績	FY22 1Q実績	FY22 予想	<div style="background-color: #ffcc00; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>中計目標</b>            FY22* FY25         </div>	
		栄養・加工食品	▲0.3%	4.9%	9.5%	約9%	2.8%	3.5%	5.6%		約6%
	ソリューション& イングリディエーツ									WACC 6%	
冷凍 食品	冷凍食品	▲5.0%	9.8%	5.3%	約11%	2.8%	7.8%	18.5%	約12%	約1% 1%～5%	
										WACC 5%	
ヘルス ケア等	バイオフィーマサービス &イングリディエーツ									約12% 10%～12%～	
	ファンクショナル マテリアルズ	3.5%	10.8%	15.5%	約13%	-	-	-	-		WACC 8%
	その他										

\* 除く構造改革費用



# 事業利益増減要因 (開示セグメント別 業績予想との比較)



**Eat Well, Live Well.**



- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。
- 本資料の金額は、切り捨てで表示しております。

# 第1四半期累計セグメント別売上高・事業利益

(単位：億円)	1Q-FY22累計 (A)	1Q-FY21累計 (B)	前年比 (A)/(B)	ポイントサマリー
売上高	3,216	2,763	116%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調味料・食品は、主に海外が伸長し、為替の影響もあり、全体で大幅増収。</li> <li>・冷凍食品は、主に北米の単価上昇により伸長し、為替の影響もあり、大幅増収。</li> <li>・ヘルスケア等は、主にファンクショナルマテリアルズ、バイオファーマサービス、医薬用・食品用アミノ酸の伸長により、大幅増収。</li> </ul>
調味料・食品	1,843	1,575	117%	
冷凍食品	608	524	115%	
ヘルスケア等	736	635	115%	
その他	27	27	102%	
事業利益	405	389	104%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調味料・食品は、増収ではあるものの、原材料等のコスト増影響等をカバーできず、減益。</li> <li>・冷凍食品は、原材料等のコスト増影響等で、国内・海外ともに減益で、全体でも減益。</li> <li>・ヘルスケア等は、主にファンクショナルマテリアルズの増収効果により、大幅増益。</li> </ul>
調味料・食品	239	242	98%	
冷凍食品	2	9	29%	
ヘルスケア等	152	127	120%	
その他	9	9	100%	

# 第1四半期累計エリア別売上高・事業利益（円貨）

(単位：億円)	日本		アジア		米州		EMEA		地域外		合計	
	FY22-1Q	対前年 増減額										
売上高	1,189	42	859	177	814	188	352	45	-	-	3,216	452
調味料・食品	624	▲ 11	823	169	266	72	129	38	-	-	1,843	268
冷凍食品	224	1	11	2	339	73	33	6	-	-	608	83
ヘルスケア等	312	51	24	4	209	43	189	0	-	-	736	100
その他	27	0	0	▲ 0	-	-	0	0	-	-	27	0
事業利益	168	14	142	▲ 6	53	▲ 1	40	9	-	-	405	15
調味料・食品	76	▲ 10	146	▲ 12	34	3	19	10	▲ 36	6	239	▲ 3
冷凍食品	10	▲ 3	7	3	▲ 1	▲ 5	▲ 1	▲ 2	▲ 11	0	2	▲ 6
ヘルスケア等	94	26	9	2	37	▲ 0	26	▲ 0	▲ 15	▲ 3	152	25
その他	10	▲ 1	▲ 0	▲ 0	-	-	1	0	▲ 2	1	9	0
全社共通費等	▲ 23	3	▲ 20	0	▲ 15	▲ 0	▲ 6	0	65	▲ 4	-	-

## 第1四半期累計各段階利益

(単位：億円)	1Q-FY22累計 (A)	1Q-FY21累計 (B)	増減 (A)-(B)	対前年 (A)/(B)	FY22予想 (C)	進捗 (A)/(C)
売上高	3,216	2,763	452	116%	13,100	24%
売上総利益	1,175	1,087	87	108%	-	-
(売上総利益率)	36.5%	39.3%			-	-
持分法による損益	21	19	1	109%	-	-
販管費	792	718	73	110%	-	-
(販管費率)	24.6%	25.9%			-	-
事業利益	405	389	15	104%	1,240	32%
その他の営業収益/営業費用net計	10	▲ 25	36	-	▲ 79	-
減損損失	1	0	1	-	-	-
営業利益	416	363	52	114%	1,160	35%
金融収益/金融費用net計	▲ 34	▲ 14	▲ 20	-	▲ 30	-
税引前四半期利益	381	349	32	109%	1,130	33%
法人所得税 (税率：FY22予想 27.0%)	88	110	▲ 21	80%	305	29%
四半期利益 (含む非継続事業)	292	239	53	122%	825	35%
親会社の所有者に帰属する当期利益	277	220	56	125%	770	36%
非支配持分に帰属する当期利益	15	18	▲ 3	81%	55	27%

## インフレーションへの対応

- ・調味料・食品や冷凍食品では、引き続き原材料等のコスト増影響を打ち返すべく、順次追加的に施策を実行中。

(主要国の価格対応-実施および発表済みのみ)

FY22 第1四半期	
調味料	インドネシア(メニュー用調味料 4月、うま味調味料 5月) ベトナム(うま味調味料 5月、メニュー用調味料 6月) フィリピン(うま味調味料・風味調味料・クッキングソース 5月、メニュー用調味料 6月) ブラジル(風味調味料 6月) 日本(うま味調味料 6月) <span style="float: right;">その他9つの国・エリアでの値上げを実施</span>
栄養・加工食品	日本(スープ 6月) ベトナム(飲料 6月) <span style="float: right;">その他4つの国・エリアでの値上げを実施</span>
冷凍食品	北米(家庭用 4-5月、業務用6月)

FY22 第2四半期以降	
調味料	タイ(風味調味料 7月、うま味調味料 8月) インドネシア(うま味調味料 7月) ベトナム(メニュー用調味料 7月、クッキングソース 8月) フィリピン(メニュー用調味料・クッキングソース 7月、うま味調味料 8月) 日本(風味調味料・マヨネーズ 10月)
栄養・加工食品	日本(一部スティック製品(コーヒー等) 9月・10月)
冷凍食品	日本(家庭用 8月・業務用 9月)

## 参考情報リンク先

---

味の素グループ IR情報

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/>

味の素グループ 統合報告書

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/annual.html>

味の素グループ 中期経営計画説明会

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/medium\\_term.html](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/medium_term.html)

味の素グループ IR Day

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/ir\\_day.html](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/ir_day.html)

味の素グループ 事業説明会

[https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/business\\_briefing.html](https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/event/business_briefing.html)